

本時のねらい

主人公の考えや行動に対して自分の考えをまとめる。

本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

- 共同編集で他者参照をすることで賛成と反対のどちらの価値観にも気づき、他者の意見を引用しながら自分の考えとして文章を構築する。
- 悩んだ時にいつでも他者参照や必要な資料を見返し、各自のペースで学習をすすめていくことができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- Teams
- Excel
- PowerPoint
- Word

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (13分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の流れ、学習課題を確認する。 学習課題「主人公の考えや行動に対して自分の考えをまとめよう」 ○キキの生き方、考え方、行動について復習する。 ・キキの生き方などに対して、賛成と反対の両方の立場に立ち、それぞれの理由を考える。 【写真1】 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に Teams で本時の流れを生徒と共有しておく。 ・Excel シートを共同編集できるようにして、友だちの意見を知ることによって気づけなかった新たな価値観に気づき、共有することができる。
展開 (25分)	<ul style="list-style-type: none"> ○バタフライチャートで自らの考えを整理していく。 ・賛成、反対の2つの視点で、他者の考えも参照しながら思考を整理する。 【写真2】 	<ul style="list-style-type: none"> ・PowerPoint のバタフライチャートに考えをまとめていく。他者の意見の引用も可とし、Excel シートから自分の考えをまとめる際に必要な理由（考え）をコピー＆ペーストしていく。PowerPoint は班ごとのファイルとし、他者のものを参考にできるようにする。
まとめ (12分)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習課題に対する自分の考えをまとめる。 【写真3】 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人の Word に賛成、反対の立場を明確にした自分の考えを文章にまとめる。その際、Word に書き方の見本を示しておく。必要なタイミングで Excel シートや PowerPoint のバタフライチャートを見返ししながら各自のペースで進める。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】賛成・反対の両方の立場の意見を書く（Excel）



【写真2】バタフライチャートを活用して思考を整理する（PowerPoint）



【写真3】個人の考えをまとめる（Word）

児童生徒の反応や変容

他者の考えに触れることで、新たな視点が生まれたり、自らの考えが深まったりしていた。他者参照や他者の考えを引用できることで、文章を書くことが苦手な生徒も意欲的に取り組み、提出することができた。ICT を活用することで推敲が容易になり、さらに他者参照により再度自分の文章を見返し、より良い文章にしようとする姿が見られた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

文章を書くことが苦手な生徒が多く、書きはじめて躓くと後の活動に影響を及ぼすので、全体共有→班共有→個人の活動となるように課題の設定をした。他者の考えを共有しておくことで、はじめは自分の考えを書くことができなくても途中で他者の考えを参照できるので、最後の個人の活動においても多くの生徒が自分の考えをまとめることができた。自分が必要なタイミングで他者の考えを参照できるというのがクラウドの良さだと感じた。